

## 配付資料3

### 港湾労働法適用港における直接日雇労働者の作業内容について

直接日雇労働者の作業内容について各港の傾向を調べるべく、各都府県労働局へヒアリングを行った。(各労働局調べ。以下の%は概数である。)

東京港 直接日雇労働者数 1, 888人日 (平成19年度月平均)  
東京港での日雇い労働者の作業内容は、43%が青果物に係る作業、16%が玉掛を行う作業、16%がコンテナ内における作業(搬入、搬出)、9%が自動車に係る作業、16%がその他となっているとのこと。

横浜港 直接日雇労働者数 6, 294人日 (平成19年度月平均)  
横浜港での日雇い労働者の作業内容は、29%が自動車に係る作業、19%がコンテナ内における作業(搬入、搬出)、18%がコンテナの固定・区画作業、14%が青果物に係る作業、20%がその他となっているとのこと。

名古屋港 直接日雇労働者数 17人日 (平成19年度月平均)  
名古屋港での日雇い労働者の作業内容は、そもそも日雇労働者の数が少なく(月平均17人日)、特定の企業が使用しているのみである。作業としては船内の清掃作業のみとのこと。

大阪港 直接日雇労働者数 279人日 (平成19年度月平均)  
大阪港での日雇労働者の作業内容は、95%が固定・区画作業、5%が船内の清掃作業であり、関連作業のみであるとのこと。

神戸港 直接日雇労働者数 2, 157人日 (平成19年度月平均)  
神戸港での日雇い労働者の作業内容は、40%がコンテナ内における作業(雑貨等の搬出、搬入)、20%が青果物の搬出、搬入、12%が鋼材の搬出、搬入、10%が自動車に係る作業、18%がその他となっているとのこと。

関門港 直接日雇労働者数 1, 158人日 (平成19年度月平均)  
関門港での日雇い労働者の作業内容は、41%がコンテナ内における作業(雑貨等の搬出、搬入)、25%が船内清掃、固定、区画作業、19%が鋼材の搬出、搬入、10%が青果物に係る作業、5%がその他となっているとのこと。